



2018年7月25日号
夏季号

vol. 57

健康的な天然木材の床

フローリング・ニュース

発行所：一般社団法人日本フローリング工業会
編集責任者：広報法務委員長 石本勝範

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F
TEL 03-3868-0971 FAX 03-3868-0972 <http://www.j-flooring.jp/>

平成30年3月6日（火）午後3時30分より（於：浜松町東京會館）



平成30年度通常総会を開催



校舎や体育館などの文教施設、東京オリンピック関連施設へのPR活動強化



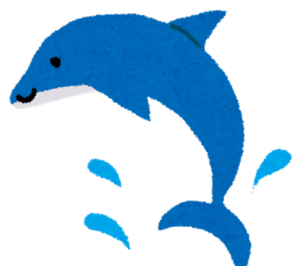
開会のあいさつをする千葉副会長＝平成30年3月6日午後3時32分

市川会長挨拶

「平成29年は、適温経済といわれる中でマンションの着工戸数も増加したが、体育館のササクレ問題が表面化し消費者庁報告書が出されるなど木質フローリングを取り巻く環境は厳しかった。このため、合同PRでは高齢者介護施設や体育館への木質フローリングの採用を要望したほか、体育館のメンテナンスの重要性をPRしたが、平成30年はこれをさらに推し進め校舎や体育館などの文教施設、東京オリンピック関連施設へ木質フローリングが採用されるようPR活動強化していく」と挨拶した。



あいさつする市川会長＝平成30年3月6日午後3時36分



平成30年度の活動計画では、時代の要請に貢献する木質フローリングのPRを東京、大阪、名古屋を中心に合同PRを強化するほか、木質フローリング検討懇話会による幅広い検討、JAS改正に向けた技術委員会による会員意見の集約実施などを行うこととした。

国土交通省の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版 改正案概要（フローリング張り抜粋）

工法の説明文を分かりやすくしたほか、単層フローリング、複合フローリングともに一般的に流通している標準寸法に改正する案になっている。

1. 釘留め工法

- ①根太張り工法のフローリングボードの「板長さ」について、500mm以上を400mm以上に改正
- ②根太張り工法の複合フローリングのB種「表層突板の厚さ1.2以上」、C種「表層突板の厚さ0.25以上、板長さ900以上」に改正
- ③直張り工法の複合フローリングのA種「板長さ900以上」、B種「表層突板の厚さ1.2以上、板長さ900以上」、C種「表層突板の厚さ0.25以上、板幅75以上、板長さ900以上」に改正

2. 接着工法

- ①フローリングボードの「板長さ400以上」に改正
 - ②複合フローリングについてA種、B種、C種の種別を新たに策定
- ＜表 19.5.6＞接着工法の複合フローリング

種別	表層（mm）	板厚（mm）	板幅（mm）	板長さ（mm）
A種	ひき板の厚さ2以上	12以上	75以上	450以上
B種	突板の厚さ1.2以上	12以上	75以上	450以上
C種	突板の厚さ0.25以上	12以上	300以上	900以上

日本とEUとの経済連携協定（日EU・EPA）が妥結

日EU・EPAについては、平成25年4月から交渉を開始し、平成29年12月に交渉妥結しました。

これにより、床材・壁面などの加工木材の関税3.6～5.0%、構造用集成材の関税3.9%、SPF製材の関税4.8%などが毎年減少し8年目に関税が0%になることになりました。

これに伴い、林野庁は今後木材加工施設の生産性向上、競争力のある品目への転換、効率的な林業経営が実現できると見込まれる地域における原木供給の低コスト化等を推進することにしております。



フローリングの日本農林規格（JAS）の改正案の概要

JAS 改正原案作成検討会が平成 30 年 6 月 21 日に開催され、改正案の概要が明らかになった

JAS 改正案の概要

①JAS 規格の様式の修正

JAS 規格の構成を第1部：一般、第2部：単層フローリング、第3部：複合フローリングの3部構成とした。

②単層フローリングの定義の修正

現行の定義では「圧縮木材」が使用できると誤解される可能性があるため、圧縮木材が含まれない定義とした。

③「根太張用」、「直張用」の定義の修正

現行の施工法に合わせた定義とした。

④樹種名の表示の方法の修正

複数樹種を使用する例が増えてきていることから、使用した樹種の多いもの順に表示することにした。

⑤複合フローリング表面の品質の基準の修正

表面の品質の基準の「入り皮、やにつぼ及びやにすじ」について、化粧の目的に使用している場合の基準を追加した。

⑥複合フローリングの長さの許容差の修正

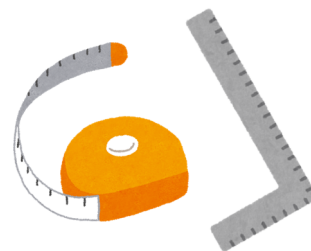
長尺の製品に対応した寸法許容差の基準を設けることとした。

⑦複合フローリングの化粧板の表示方法の修正

化粧板にひき板を使用したものにあつては、その旨を表示することとした。

⑧複合フローリングの標準寸法の追加

複合フローリングの標準寸法に意匠性の関係や省施工の観点から455mmの幅を追加した。



合同 PR 訪問先 Q&A の作成

合同 PR 訪問先 Q & A を作成して木質フローリングの採用拡大に活用

（一社）日本フローリング工業会では、毎年重要な活動として関東、中部、近畿地区において各地域のフローリング協会と合同で、高齢者介護施設、幼稚園、保育園、学校、体育館の新設及びリノベーション時に木質フローリングを採用していただくため、市役所の建築関係部署、教育委員会等を訪問して木質フローリングのPRに努めている。

その際にこれまでの主要な質問事項を整理して、訪問者が参考にできるようにQ & Aを生産部会が中心となり作成した。

5部27問構成となっており、今後のPR活動に役立ててもらうことが期待されている。

- Q
& A
の
構
成

 1. フローリングの商品としての要望
 2. 施工に対する要望
 3. メンテナンスに対する要望
 4. 床リニューアル等の財源確保の要望
 5. その他

中部支部だより

大場 晃 中部支部（天龍プレパーク株式会社）

2018年も半分の6ヶ月が過ぎ、カレンダー上では後半戦に突入の時期となりました。

6月29日には関東甲信地方が平年（7月21日ごろ）より22日早く、昨年（7月6日ごろ）より7日早い梅雨明けとなりました。関東甲信地方が6月に梅雨明けするのは初めての事らしく、年々夏と冬の期間が長くなり我が国特有の四季の移り変わりが薄くなりつつあるのも地球温暖化の影響なのでしょうか。

さて、当東海地域の経済は製造業の好調な輸出に支えられ足元がしっかりしております。品目別では、輸出の3割を占める自動車が8か月連続、約2割を占める一般機械も14ヶ月連続で前年比増加を確保しています。

愛知県だけを捉えると民間企業設備は2017年比3.4%の伸びを2018年は予想しています。

しかしながら、民間住宅に関しては-1.6%と前年割れの見通しが計数表に載っております。文教関係の仕事も迫力は感じられない現状です。半面、民間非住宅、特にホテル関係からのフローリングオファーは例年以上に多く感じられます。使用箇所の特徴もありますが、表面には独特のルックスを求められる場合が殆どで、いわゆる今風な言い方ですと「キャラが立っている」フローリングです。

ここ数年のトレンドの変化は文教→幼保園→外資系ホテル・・・こんな感じでしょうか。

時代の要望にはスムーズに答えていきたいですね。

ひとこと

大場 晃 中部支部（天龍プレパーク株式会社）

6月18日に発生した大阪北部地震。

被害を受けられた方々には心からお見舞い申し上げますと共に復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

事後の調査によれば全国の都道府県教育委員会などに、建築基準法施行令の基準にあわないことが疑われるブロック塀があると確認した小中学校や高校、特別支援学校の数が6月29日までの新聞発表で、少なくとも計2,498校となったとの事。各自治体の担当者は「古い学校が多く、予算面で改修に手が回らなかったことも一因」と説明している。ブロック塀の危険は学校にとどまらない。保育所や障害者施設を含む公共施設にもそのリスクは存在する。体育館の「ササクレ」問題も然り、人身事故につながる危険性が高いのにも係わらず「予算が改修に回らない」現状。

いったいこの国の予算付け優先順位とは何が基本なのだろうか？

何事にも代えられない貴重な「命」を守る以外に優先されるものがあるのだろうか？

中部支部では5月末～6月初旬にかけて「自治体PR」を実施した。今回新しい試みとして名古屋市内の公立高校に訪問し、体育館の使用状況やメンテ方法などのヒアリング行った。メンテ必要な実態は把握しているがやはり「予算が・・・」の一言。これが現状なのは理解できるが、見過ごせない現状なのだ。工業会として様々なアクションプランが必要ではなかろうか。

品川ー新大阪間を最短67分で結ぶリニアモーターカーが2045年開業予定らしい。公的資金投入による国民負担のリスクや環境破壊のリスクを伴いながら9兆円の予算を予定しているとの事。

何か腑に落ちないと感じているのは小職だけであろうか？

サッカー観戦で睡眠不足&敗戦で気が晴れない朝を迎えた私でした。

●広報法務委員

委員長 石本 勝範

委員 岩見 和也 委員 矢野 伸和

委員 清見 謙造 委員 當舎 弘造

●会員動向 平成30年7月25日時点

正会員 55社

賛助会員 20社

合計 75社

●告知板

10月10日(水)・・・平成30年度施工流通部会総会

11月8日(木)・・・平成30年度生産部会総会

編集後記

今年度はフローリングの生産、施工に大きな影響が予想される JAS 規格の改正や国土交通省の公共建築工事標準仕様書の改訂が行われています。いずれの作業にも工業会の会員の声が反映されるように引き続き努力していきます。

